

全国事業承継推進会議 沖縄ブロック 沖縄事業承継フォーラム

～沖縄の事業承継のかたちを求めて～
を開催しました

No.13



【経済産業部】

沖縄総合事務局では、平成31年3月1日に、沖縄県青年経済5団体連絡協議会や中小企業庁などの関係機関との共催で、「沖縄事業承継フォーラム」沖縄の事業承継のかたちを求めて」を開催しました。本フォーラムは、中小企業庁が2018年秋から取組んでいる全国事業承継推進会議の沖縄ブロックとして行われたものです。

中小企業・小規模事業者の事業承継は、日本経済全体の課題であり、特に沖縄県は、民間シンクタンクの後継者実態調査によると60歳以上の経営者の後継者不在率が全国ワースト1位となっています。また、1990年からの経営者の平均年齢の上昇幅が全国2位の状況にあるなど、全国的に見ても世代交代が進んでおらず、事業承継は喫緊の課題となっています。

本フォーラムは、事業承継の大切さや「気付き」、「学び」につながるイベントとして開催され、磯崎仁彦経済産業副大臣による開会挨拶や玉城デニー沖縄県知事のメッセージ紹介、沖縄県内企業2社による基調講演、県内金融機関・公的支援機関によるパネルディスカッションを行いました。



磯崎仁彦副大臣による開会挨拶

基調講演：事業承継に関する「親子間・兄弟間での対話の重要性」について

基調講演では、愛知大学経済学部・打田委千弘教授をモデレーターとして、実際に事業承継を経験された沖縄県内企業2社からお話を伺いました。

1 社目の沖縄フルーツランド・代表取締役社長安里博樹様からは、ファミリービジネスの観点から事業承継全体についてお話し頂き、「最初は社員とのコミュニケーションに苦労した」、「事業承継にあたっては、財務と税務の知識が必要である」といった経験談をお話し頂きました。2 社目の世界のブエノチキン合同会社・代表社員浅野朝子様（後継者）、幸喜孝英様（先代）のお二人からは、事業承継における親子間のコミュニケーションのあり方についてお話し頂き、後継者の浅野様からは「うちのチキンは世界で一番おいしいので、大学や社会人の経験を活かして家業を継ぎたいと思った」というお話を、また先代の幸喜様からは「事業を引き継いだからには、先代は経営に口を出さない



基調講演

ことが大切だと思っている」といったお話しがあり、参加者は時に笑い、時にうなずきながら、自社の状況に重ね合わせて熱心に耳を傾けていました。

パネルディスカッション：沖縄の事業承継とM&A ―事業承継の支援と金融のネットワーク―

金融機関・公的支援機関によるパネルディスカッションでは、各機関の支援体制や事例紹介、データベースの活用方法、「掘り起こし」による事業承継ニーズの顕在化の重要性について議論しました。議論を通して、①「傾聴力」などのスキルアップの重要性、②他機関と連携した支援体制の構築、③事業者と向き合う時間の確保といった課題が見えてきました。当局では、沖縄県の中小企業・小規模事業者が抱えるこれらの課題に対し、「沖縄県事業承継ネットワーク」を基軸に、各機関が相互に強みを発揮できる仕組みづくりに取り組んでまいります。



セミナーの様子

模事業業者が抱えるこれらの課題に対し、「沖縄県事業承継ネットワーク」を基軸に、各機関が相互に強みを発揮できる仕組みづくりに取り組んでまいります。

経済産業部中小企業課

☎098-866-1755